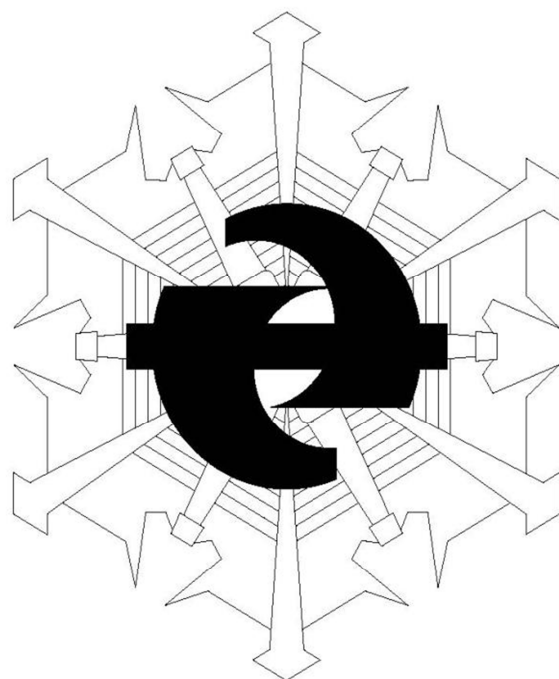


精 華 町
消 防 年 報

令和 8 年度刊行



精華町消防本部

目 次

消防長あいさつ	1
消防年報	2
精華町の概要	3
精華町の位置図	4
消防庁舎	5
精華町消防の沿革	5
《総務編》	
1 消防本部の組織及び機構	10
2 消防本部・署事務分掌	11
（1）消防本部事務分掌	11
（2）消防署事務分掌	13
3 消防の予算	14
（1）一般会計と消防費（当初予算）	14
（2）消防費（当初予算）と世帯数及び人口当たりの比較	14
（3）令和8年度消防費（当初予算）の内訳	15
4 消防職員の配置状況	16
5 消防職員の年齢状況	17
《予防編》	
1 防火対象物一覧表	18
2 消防用設備等の設置の状況	19
3 製造所等別の許可、完成検査及び廃止届等の状況	20
4 危険物施設の仮使用、危険物の仮貯蔵及び仮取扱の状況	20
5 危険物施設の状況	21
6 防災組織等の状況	22
（1）婦人防火クラブ	22
（2）幼年消防クラブ	22
（3）精華町防火委員会	22

(4) 消防支援ボランティア	23
7 防火指導の状況	23

《通信指令編》

1 消防無線の設置の状況	24
2 119番通報の状況	25
3 病院紹介の状況	26
4 気象の状況(精華町消防本部)	27
5 気象注意報・警報等の発表の状況(精華町)	28

《警防編》

1 消防機械の配置の状況(消防本部・署)	29
2 特殊機械器具等の配置の状況	30
3 消防水利の現状	33

《火災編》

1 火災の概要	34
2 月別の火災発生の状況	34
3 曜日別、覚知別の火災発生の状況	35
4 時間帯別、種別別の火災発生の状況	36
5 火災原因別の発生の状況	36
6 過去5年間の火災件数の推移	37
7 月別、種別別の消防事故発生の状況	38

《救急編》

1 救急の概要	39
2 月別の救急出動の状況	39
3 曜日別の救急出動の状況	39

4	時間帯別の救急出動の状況	40
5	病院別の搬送人員の状況	40
6	年齢区分別、事故種別別の救急搬送人員の状況	41
7	事故種別別、傷病程度別の救急搬送人員の状況	42
8	夏季における熱中症による救急出動の状況	42
9	過去5年間の救急件数の推移	43

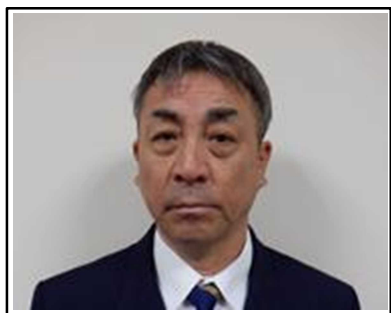
《救助編》

1	救助の概要	44
2	月別の救助出動の状況	44
3	曜日別、覚知別の救助出動の状況	44
4	時間帯別、種別別の救助出動の状況	45
5	過去5年間の救助件数の推移	45

《消防団編》

1	消防団の組織及び機構	46
2	消防団の所轄区域	47
3	消防団の状況	47
	(1) 消防団員の定数と実員	47
	(2) 消防団員の配置の状況	48
	(3) 消防団員の年齢の状況	48
4	消防団の表彰暦	49
5	消防機械の配置の状況(消防団)	50

はじめに



精華町消防長 今井 清

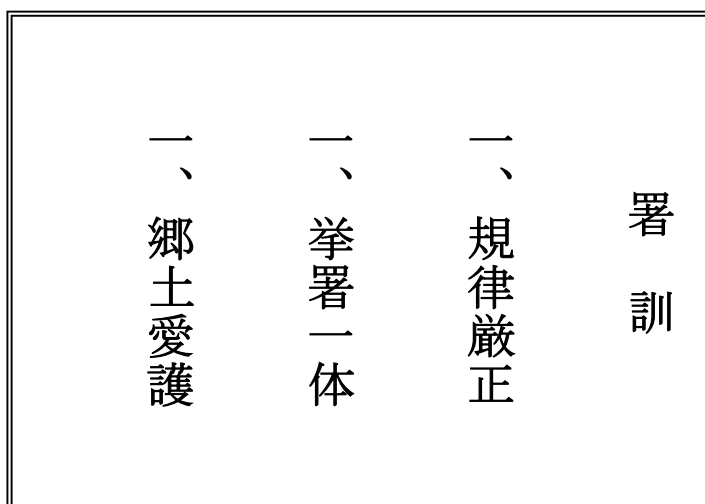
この消防年報は、精華町消防本部の現勢及び令和7年中の消防業務の統計を集録し、今後の消防行政の運用に資するとともに、住民の皆様をはじめ広く一般にご紹介することを目的とし編冊したものです。

精華町では、「活力あふれ魅力ある学研都市のまちづくり」「安全・安心で健やかな暮らしのまちづくり」「未来をひらく教育と文化のまちづくり」「住民協働と行財政運営の強靱化のまちづくり」の四つの基本方針を掲げており、消防行政において「安全・安心で健やかな暮らしのまちづくり」の実現に向けた責任は重大であり、日々、積極的に運営を図っていく所存であります。

住民の皆様をはじめ関係者の皆様におかれましては、消防行政の運営にご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年5月

精華町消防本部



消 防 年 報

精華町管内の消防状況及び消防業務並びに令和7年中各種統計を収録したものです。

精華町単独防火標語

「 その油断 その横着が 火事を出す 」



スローガン

“安全で安心して暮らせる災害に強いまちづくり”

重 要 施 策

- 1 住宅防火対策の推進
- 2 消防力の整備充実
- 3 消防団の充実強化
- 4 情報管理システムの確立
- 5 救急業務の充実
- 6 防火対象物等の安全対策の推進

精華町の概要

精華町は、京都府の南西端に位置し、日本そして近畿圏の中で、ほぼ地理的中心に位置しています。西部と南部はなだらかな丘陵、東部には平坦な農地が広がり、東端には木津川が流れ、年間の平均気温は約15度で温暖な気候と緑豊かな自然に恵まれています。

一方、京都・大阪・奈良の2府1県にまたがって建設が進められてきた「関西文化学術研究都市」（通称：けいはんな学研都市）の中心地として、大きく注目を浴び、都市建設の進展に伴って町の様子も大きく変化していきました。

学研都市の中心都市である本町には、国立国会図書館関西館をはじめ、国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）や株式会社国際電気通信基礎技術研究所（ATR）などの中核的研究機関、大手民間企業の研究所など大規模な文化学術研究施設が立地し、さらには日本を代表するサイエンスシティにふさわしい精華大通りやけいはんな記念公園などの整備により、緑豊かで美しく風格のある都市景観が形成されています。

また、周辺地区における農業分野では、優良農地や里山を保全し、農業の六次産業化や新たな特産品の開発にも取り組んでいます。さらには、観光分野では町内の観光農園やけいはんな記念公園などへの観光誘致に取り組み、「いちごのまち」、「スイーツのまち」としての魅力も高まりつつあります。

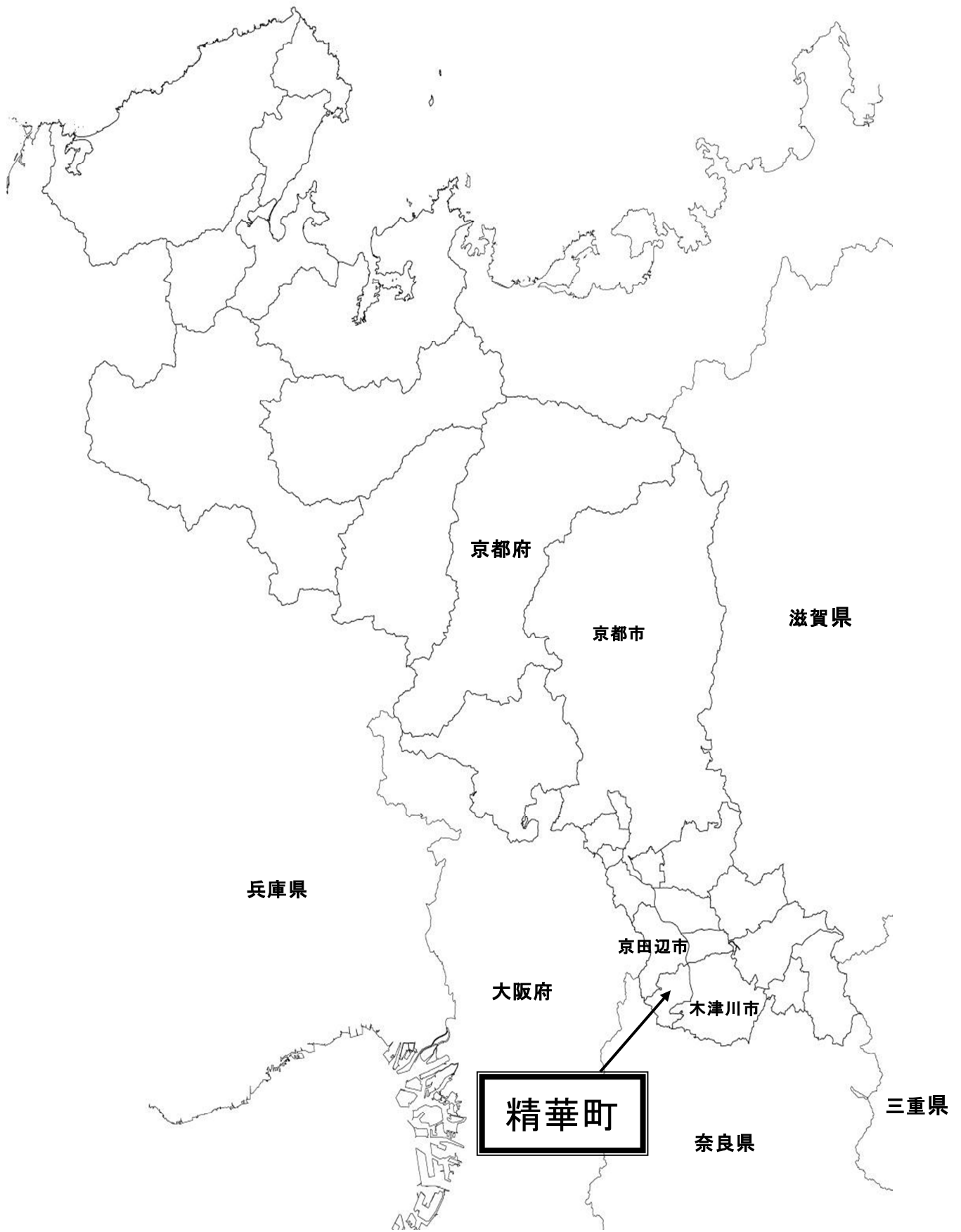
環境分野では、多くの住民がまちを美しくとの思いから、クリーンリサイクル運動やきれいなまちづくり運動などの美化活動を展開しています。

精華町は【人がつながり 夢を叶える 学研都市精華町】をまちの将来像に掲げ、「誰もが健やかに暮らせる安全・安心のまちづくり」を進めています。

	令和7年			令和8年			前年比		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計
人口（人）	17,290	18,715	36,005	17,098	18,456	35,554	-192	-259	-451
世帯数（世帯）	15,600			15,591			-9		

※人口・世帯数については、各年4月1日現在

精華町の位置図



消防庁舎



精華町消防本部 〒619-0244

精華町消防署 京都府相楽郡精華町大字北稲八間小字寄田長 31 番地

精華町消防団本部 TEL : 0774-94-5119 FAX : 0774-94-5493

所在地（京都府相楽郡精華町）

位 置	北緯：34 度 45 分 東経：135 度 47 分
町 域	東西：4.78km 南北：4.85km
面 積	25.68k m ²

精華町ホームページ

URL	https://www.town.seika.kyoto.jp
-----	---

精華町消防の沿革（沿革録より抜すい）

大正10年10月13日	相楽郡狛田村 151 名、稲田村 151 名、祝園村 151 名で各村 3 部編成並びに山田荘村 321 名で 4 部編成し、それぞれ消防組を設置する。
昭和 6 年10月 1日	相楽郡狛田村、稲田村及び祝園村を合併し 503 名 10 部編成で川西村消防組を設置する。
昭和 8 年 1 月 5日	川西村消防組の定員を 207 名とし、6 部編成する。
昭和14年 4 月 1日	各消防組を川西警防団（207 名 6 部編成）及び山田荘警防団（230 名 4 部編成）に改める。
昭和22年10月 3日	各警防団を川西村消防団（207 名 6 部編成）及び山田荘村消防団（230 名 4 部編成）に改める。
昭和24年12月26日	川西村消防団無火災により京都府消防協会長より表彰を受ける。
昭和26年 4 月 1日	川西村、山田荘村合併に伴い精華村消防団を結成し、斉藤源太氏、消防団長に就任する。
昭和28年 2 月 1日	田尻定一郎氏、消防団長に就任する。
昭和29年10月10日	山城ブロック消防ポンプ操法競技会において成績第 1 位に付き京都府消防協会長より竿頭綬を授与される。

4月 1日 8月17日 8月22日	精華町消防団の組織等に関する規則を全面改正する。 精華町消防吏員被服等貸与に関する規程を制定する。 精華町消防賞じゅつ金審査委員会規程を制定する。 職員4名第6期生として採用する。 精華町消防本部及び消防署の設置等に関する条例の一部を改正し、精華町大字北稻八間小字寄田長31番地に消防本部・署、消防団本部を移転する。 第3回京都府消防協会相楽支部操法大会（小型動力ポンプの部）で優勝する。
昭和52年 4月 1日	職員2名第7期生として採用する。
昭和53年 1月 1日 3月27日 4月 1日 7月28日 8月 1日 8月20日	精華町消防職員服務規程を制定する。 精華町消防長危険物専決規程を制定する。 精華町危険物規制規則を制定する。 補給装置付防火水槽の設置及び管理に関する条例を制定する。 精華町消防団員の服制規則を制定する。 第4回京都府消防協会相楽支部操法大会（小型動力ポンプの部）で優勝する。
昭和54年 2月10日 11月26日	昭和53年度優良消防団として、日本消防協会から表彰旗を授与される。 あき地の防火管理に関する指導要綱を制定する。
昭和55年 3月 5日 8月 4日 8月10日 8月22日	昭和54年度優良消防本部・消防団として、消防庁長官から竿頭綬を授与される。 精華町水防協議会条例を制定する。 第5回京都府消防協会相楽支部操法大会（小型動力ポンプの部）で優勝する。 第6回京都府消防協会操法大会（小型動力ポンプの部）で準優勝する。
昭和56年 4月 1日 10月10日	職員2名第8期生として採用する。 久保正一氏、消防団長に就任する。
昭和57年 8月31日 10月11日	第7回京都府消防協会操法大会（小型動力ポンプの部）で優勝する。 第8回日本消防協会操法大会（小型動力ポンプの部）に出場する。
昭和59年 4月 1日	杉嶋愛治氏、消防団長に就任する。
昭和60年10月23日	京都府知事表彰旗を授与される。
昭和62年 4月 1日 10月 1日	奥巖氏、消防長に就任する。 職員2名第9期生として採用する。 救助隊（兼務）を発足する。
昭和63年 4月 1日	職員2名第10期生として採用する。
平成 2年 4月 1日	職員2名第11期生として採用する。
平成 3年 4月 1日	職員1名第12期生として採用する。
平成 4年 8月31日 11月17日	第12回京都府消防協会操法大会（小型動力ポンプの部）で入賞する。 平成4年度消防庁長官優良消防機関表彰に伴う表彰調査受閲。
平成 5年 3月 3日	平成4年度消防庁長官優良消防機関表彰（表彰旗）を受ける。
平成 7年 4月 1日 4月11日	高規格救急自動車及び救急救命士の運用を開始する。 職員2名第13期生として採用する。 精華町消防本部救急救命士運用要領を制定する。
平成 8年 4月 1日	久村勝氏、消防長に就任する。 高田尚彦氏、消防団長に就任する。
平成 9年 4月 1日	職員2名第14期生として採用する。
平成11年 1月28日	京都府知事特別表彰旗を授与される。

4月 1日	職員 1 名第 15 期生として採用する。
平成12年 4月 1日	精華町消防手数料条例を制定する。
12月 1日	職員 1 名第 16 期生として採用する。 精華町消防団女性部 10 名で発足する。
平成13年 4月 1日	浅田清隆氏、消防長に就任する。
平成14年 1月 1日	京都府消防協会長表彰旗を授与される。
平成14年 7月28日	第 14 回京都府消防協会相楽支部操法大会（小型動力ポンプの部）で準優勝する。
平成15年 4月 1日	職員 1 名第 17 期生として採用する。
7月27日	第 15 回京都府消防協会相楽支部操法大会（小型動力ポンプの部）で準優勝する。
平成16年 4月 1日	川嶋一生氏、消防長に就任する。
7月25日	清水誠氏、消防団長に就任する。 職員 3 名第 18 期生として採用する。 第 16 回京都府消防協会相楽支部操法大会（小型動力ポンプの部）で準優勝する。
平成17年 4月 1日	職員 4 名第 19 期生として採用する。
平成18年 4月 1日	職員 2 名第 20 期生として採用する。
7月23日	第 17 回京都府消防協会相楽支部操法大会（小型動力ポンプの部）で準優勝する。
8月 6日	第 19 回京都府消防操法大会（小型動力ポンプの部）で奨励賞を受賞する。
平成19年 4月 1日	職員 1 名第 21 期生として採用する。
平成20年 4月 1日	杉原孝司氏、消防長に就任する。
7月 7日	清水誠消防団長、京都府消防協会相楽支部長に就任する。
8月26日	精華町職員定数条例の一部を改正し、消防本部・署の定員を 5 3 名に改める。 職員 6 名第 22 期生として採用する。 精華町消防団操法大会優勝旗新調する。 財団法人日本宝くじ協会から消火・通報訓練指導車を寄贈される。
平成21年 4月 1日	職員 4 名第 23 期生として採用する。
9月 1日	精華町消防本部予防技術資格者の認定等に関する規程を制定する。
平成22年 2月18日	地域活性化・経済危機対策臨時交付金により救助ボートを購入する。
4月 1日	吉田一雄氏、消防団長に就任する。
7月25日	職員 2 名第 24 期生として採用する。 第 19 回京都府消防協会相楽支部操法大会（小型動力ポンプの部）で準優勝する。
8月 1日	第 21 回京都府消防操法大会(小型動力ポンプの部)で 4 位入賞する。
平成23年 4月 1日	栗田省吾氏、消防長に就任する。 職員 3 名第 25 期生として採用する。
平成24年 2月23日	消防団が財団法人日本消防協会から特別表彰「まとい」を授与される。
3月20日	特別表彰まとい受章記念式典・パレードを実施する。
4月 1日	岩井三郎氏、消防団長に就任する。
7月29日	職員 2 名第 26 期生として採用する。 第 20 回京都府消防協会相楽支部操法大会（小型動力ポンプの部）で優勝する。
8月 1日	第 22 回京都府消防操法大会（小型動力ポンプの部）で優勝する。
12月27日	消防団旗新調する。

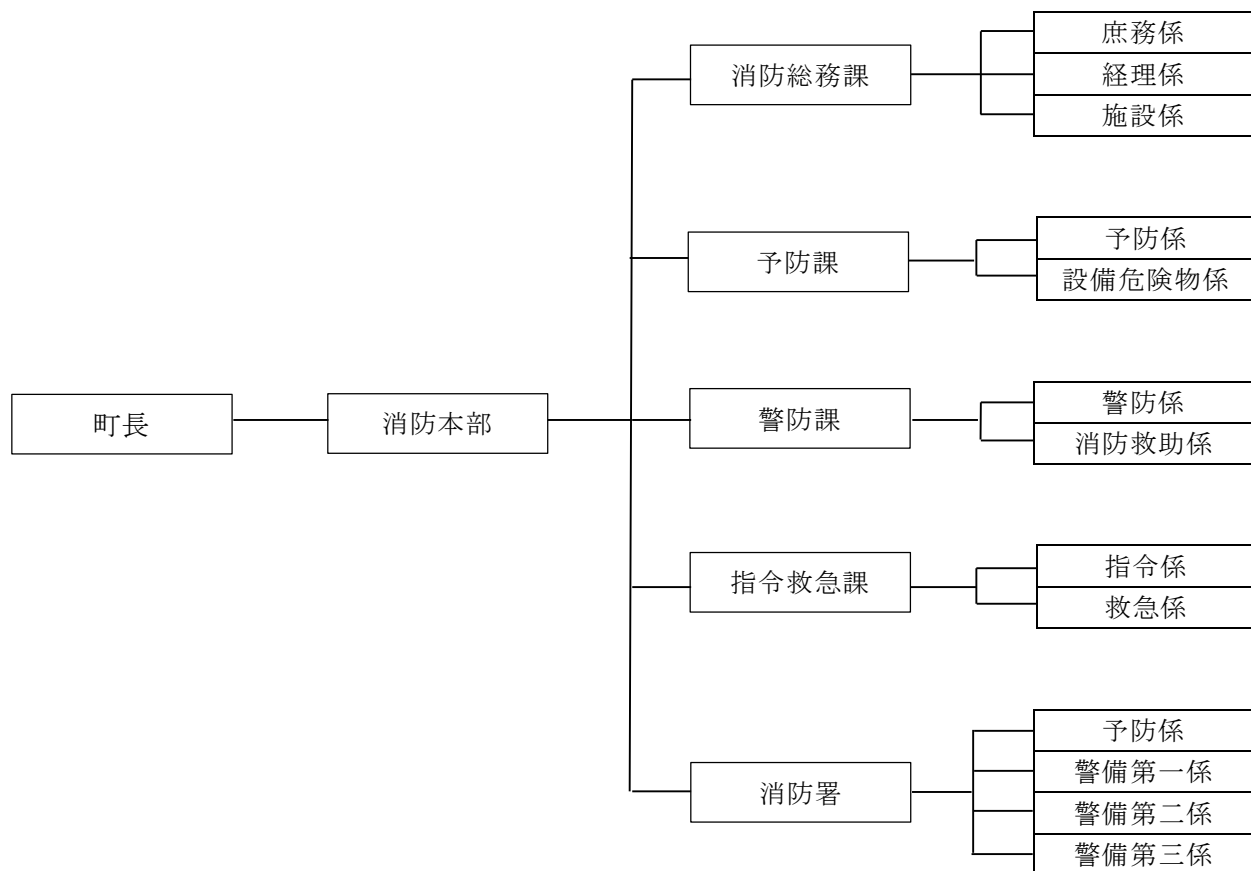
平成25年 4月 1日	職員 2名第 27 期生として採用する。
平成26年 4月 1日	大矢義郎氏、消防長に就任する。 中西光泰氏、消防団長に就任する。 職員 2名第 28 期生として採用する。
7月27日	第 21 回京都府消防協会相楽支部操法大会（小型動力ポンプの部）で準優勝する。
8月 1日	第 23 回京都府消防操法大会（小型動力ポンプの部）で優勝する。
平成26年11月 7日	第 24 回全国消防操法大会（小型動力ポンプの部）に出場する。
平成27年 4月 1日	職員 2名第 29 期生として採用する。
7月 1日	新消防庁舎及び消防救急デジタル無線の運用を開始する。
平成28年 4月 1日	職員 1名京都府立消防学校へ教官として派遣する。
7月31日	第 24 回京都府消防操法大会（小型動力ポンプの部）で準優勝する。
平成29年 3月22日	訓練棟完成に伴い消防庁舎車庫棟にて消防庁舎竣工式を実施し、同日から運用を開始する。
4月 1日	坂野佳彦氏、消防長に就任する。 職員 3名第 30 期生として採用する。
平成30年 3月31日	職員 1名京都府立消防学校へ教官としての派遣を終える。
4月 1日	職員 2名第 31 期生として採用する。
7月22日	第 23 回京都府消防協会相楽支部消防操法大会（小型動力ポンプの部）で優勝する。
8月 5日	第 25 回京都府消防操法大会（小型動力ポンプの部）で準優勝する。
11月 8日	職員 1名京都府高度救急業務推進協議会指導救命士に認定される。
平成31年 4月 1日	内田昌輝氏、消防長に就任する。
令和 2年 4月 1日	喜多俊夫氏、消防団長に就任する。 職員 2名第 32 期生として採用する。
令和 3年12月27日	職員 1名京都府高度救急業務推進協議会指導救命士に認定される。
令和 4年 4月 1日	岩井博行氏、消防長に就任する。 職員 1名第 33 期生として採用する。
8月 5日	第 28 回京都府消防操法大会（小型動力ポンプの部）で準優勝する。
令和 5年 4月 1日	職員 1名第 34 期生として採用する。
令和 6年 4月 1日	荒深廣一氏、消防長に就任する。 職員 1名第 35 期生として採用する。 精華町職員定数条例の一部を改正し、消防本部・署の定数を 58 名に改める。
4月12日	喜多俊夫消防団長、京都府消防協会相楽支部長に就任する。
8月25日	第 29 回京都府消防操法大会（小型動力ポンプの部）で優勝する。
9月10日	消防本部旗新調する。
10月 6日	精華町消防本部発足 50 周年記念式典を実施する。
10月12日	第 30 回全国消防操法大会（小型動力ポンプの部）で優良賞（5 位）を受賞する。
11月28日	職員 1名京都府高度救急業務推進協議会指導救命士に認定される。
令和 7年 4月 1日	今井清氏、消防長に就任する。 職員 4名第 36 期生として採用する。
令和 8年 1月 1日	伊藤利明氏、消防団長に就任する。
4月 1日	職員 4名第 37 期生として採用する。 精華町消防団指導部を設置する。

総務編



【消防庁舎】

1 消防本部の組織及び機構



※「消防団の組織及び機構」は、消防団《消防団編》に記載しています。

2 消防本部・署事務分掌

(1) 消防本部事務分掌

消防総務課	庶務係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 消防本部、消防署の組織及び総合企画並びに連絡調整に関すること。 (2) 職員の人事に関すること。 (3) 文書及び公印の保管に関すること。 (4) 職員の教養に関すること。 (5) 職員及び消防等作業従事者の公務災害補償に関すること。 (6) 職員の表彰、叙勲に関すること。 (7) 公務による交通事故の処理及び賠償に関すること。 (8) 職員の福利厚生及び健康管理に関すること。 (9) 部内会議に関すること。 (10) 総括安全管理者会議に関すること。 (11) 消防本部、消防署の事業計画に関すること。 (12) 職員の労務管理に関すること。 (13) 消防職員委員会に関すること。 (14) 消防長の秘書に関すること。 (15) 消防団に関すること。 (16) その他各課又は各係に属さないもの。
	経理係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 消防費の歳入、歳出予算及び執行管理に関すること。 (2) 補助金及び起債に関すること。 (3) 消防本部及び消防団に属する財産の管理に関すること。 (4) 一般経理に関すること。 (5) コンピューター等の導入・管理に関すること。 (6) 職員の給貸与品に関すること。 (7) 職員の給与及び旅費等の集計に関すること。
	施設係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 消防装備等の企画計画及び科学化に関すること。 (2) 消防装備等の配置計画に関すること。 (3) 消防機械器具の整備保全に関すること。 (4) 消防関係車両の車検及び定期検査に関すること。 (5) 特殊機械器具の操作技術の指導に関すること。 (6) 消防機械器具の安全対策に関すること。 (7) 消防機械器具の研究改善に関すること。 (8) 防火水槽設置工事に関すること。 (9) 消防庁舎等の管理・整備に関すること。

予防課	予防係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 火災予防の対策に関する事。 (2) 事業所等の予防査察及び防火指導に関する事。 (3) 各種火災予防運動に関する事。 (4) 防火管理者等の指導に関する事。 (5) 防火管理者資格取得講習会に関する事。 (6) 火災警報の伝達に関する事。 (7) 火災注意報の発令に関する事。 (8) 文化財の防火に関する事。 (9) 婦人防火クラブ、幼年消防クラブ及び防火委員会に関する事。 (10) 自衛消防組織の育成指導に関する事。 (11) 火気設備等の設置指導に関する事。 (12) 消防広報、広聴の調整及び広報紙等の企画編集に関する事。 (13) 住宅用火災警報器等の設置指導に関する事。 (14) その他各係に属さないもの。
	設備危険物係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 消防用設備等の設置指導に関する事。 (2) 防災物品等の設置指導に関する事。 (3) 消防活動上必要な消防用設備設置及び操作技術の指導に関する事。 (4) 建築物に関する同意事務に関する事。 (5) 危険物の規制に関する事。 (6) 指定可燃物の規制に関する事。 (7) 高圧ガス施設の同意事務に関する事。 (8) 液化石油ガス等の防火に関する事。

警防課	警防係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 大型開発及び宅地開発に関する事。 (2) 地域防災計画及び都市計画等の検討助成に関する事。 (3) 消防組織法に基づく消防計画に関する事。 (4) 消防統計に関する事。 (5) 住民の訓練等の防火防災指導に関する事。 (6) 学研地区防災連絡協議会に関する事。 (7) 安全運転業務に関する事。 (8) 緊急車両運転に関する事。 (9) 消防団の住民指導に関する事。
	消防救助係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 災害の警戒、防ぎよ及び災害対応計画に関する事。 (2) 特別警備計画及び特殊災害対策に関する事。 (3) 消防救助訓練等に係る企画立案及び指導育成に関する事。 (4) 国民保護に関する事。 (5) 安全管理計画に関する事。 (6) 救助事務に関する事 (7) 緊急消防援助隊に関する事。 (8) 救助資器材等の整備管理に関する事。 (9) 指揮隊及び各隊員の育成に関する事。 (10) その他各係に属さないもの。

指令救急課	指令係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 消防通信に関する事。 (2) 災害出動指令に関する事。 (3) 職員の非常招集に関する事。 (4) 無線従事者に関する事。 (5) 火災とまぎらわしい煙又は火炎を發するおそれのある行為等の届出(精華町火災予防条例(昭和50年条例第28号)第57条第3号、第4号及び第5号の2を除く。)に関する事。
	救急係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 救急事務に関する事。 (2) 救急統計に関する事。 (3) 救急訓練等の指導育成に関する事。 (4) 救急活動計画に関する事。 (5) 救急法等の指導に関する事。 (6) 救急医薬材料の整備管理に関する事。 (7) 指導救命士に関する事。 (8) メディカルコントロール協議会に関する事。 (9) 医療機関との調整、研修、指導に関する事。 (10) 救急救命士への生涯教育、救急隊員等への教育に関する事。 (11) その他各係に属さないもの。

(2) 消防署事務分掌

消防署	予防係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 火災予防の対策に関する事。 (2) 事業所等の予防査察及び防火指導に関する事。
	警備第一係 警備第二係 警備第三係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 庶務に関する事。 (2) 災害の警戒及び防ぎよに関する事。 (3) 消防訓練に関する事。 (4) 消防団の訓練指導に関する事。 (5) 火災その他、災害調査に関する事。 (6) 消防水利に関する事。 (7) 安全管理に関する事。 (8) 救急業務に関する事。 (9) 救助業務に関する事。 (10) 指令業務に関する事。 (11) 水防業務に関する事。 (12) 水防資器材整備管理に関する事。 (13) その他各係に属さないもの。

3 消防の予算

(1) 一般会計と消防費（当初予算）

年度 \ 区分	町一般会計予算額	消防費予算額	消防費の比率
令和4年度	14,580,000	583,633	4.0%
令和5年度	15,260,000	623,779	4.0%
令和6年度	16,266,000	667,067	4.1%
令和7年度	18,370,000	823,627	4.4%
令和8年度	20,420,000	932,983	4.6%

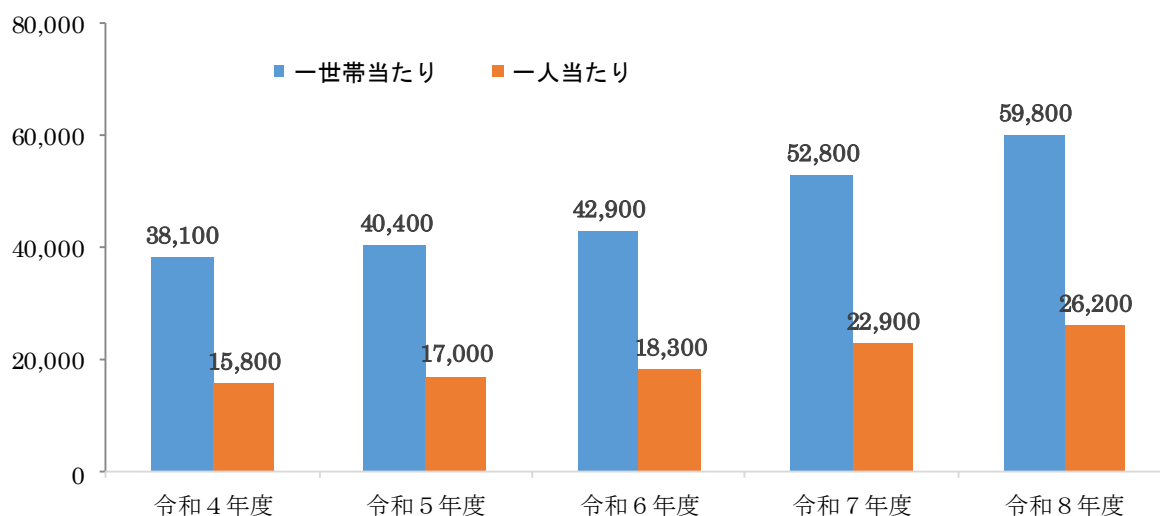
(単位：千円)

(2) 消防費（当初予算）と世帯数及び人口当たりの比較

年度 \ 区分	予算額(千円)	一世帯当たり(円)	一人当たり(円)
令和4年度	583,633	38,100	15,800
令和5年度	623,779	40,400	17,000
令和6年度	667,067	42,900	18,300
令和7年度	823,627	52,800	22,900
令和8年度	932,983	59,800	26,200

(単位：消防費予算額は千円、一世帯及び一人当たりは円)

一世帯当たり及び一人当たりの消防費の推移

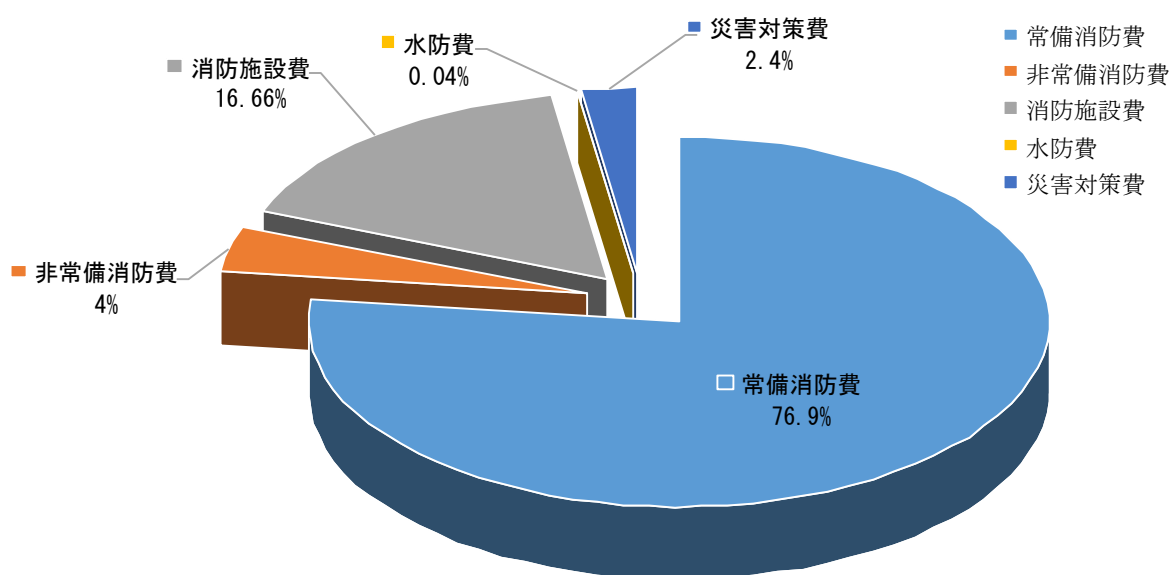


(3) 令和8年度消防費（当初予算）の内訳

予算項目	当初予算額 (%)	合計 (%)
常備消防費	717,486 (76.9%)	932,983 (100%)
非常備消防費	37,328 (4%)	
消防施設費	155,397 (16.66%)	
水防費	383 (0.04%)	
災害対策費	22,389 (2.4%)	

(単位：千円)

令和8年度消防費（当初予算）の内訳



4 消防職員の配置の状況

所属等		階級等	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他職員	合計	
消防本部	消防長		1							1	
	次長									0	
	参事									0	
	消防総務課	課長			1						1
		課長補佐・係長等			2	3					5
		主査等				1	3	1	4		9
	予防課	課長			1						1
		課長補佐・係長等			2 ①	1					3 ①
		主査等				3	2	2			7
	警防課	課長			1						1
		課長補佐・係長等			1	2					3
		主査等				1	1	1	1		4
	指令救急課	課長			1						1
		課長補佐・係長等			2 ①	1					3 ①
		主査等				1	5				6
小計			1	11 ②	13	11	4	5	0	45 ②	
消防署	消防署長			1						1	
	署長補佐			3 ①						3 ①	
	予防係	係長等			①						①
		主査等					①	①			②
	警備係	係長等				2					2
		主査等				1	1		3		5
小計			0	4 ②	3	1 ①	①	3	0	11 ④	
合計			1	15 ④	16	12 ①	4 ①	8	0	56 ⑥	
定数			58								

令和8年4月1日現在

注. ○数字は、兼任又は事務取扱いを示す。

5 消防職員の年齢の状況

階級等 年齢	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	その他 職員	合計
25歳未満						5		5
25歳以上 30歳未満				1	3	3		7
30歳以上 35歳未満			1	6	1			8
35歳以上 40歳未満		1	6	2				9
40歳以上 45歳未満		1	9	1				11
45歳以上 50歳未満		8						8
50歳以上 55歳未満		3		1				4
55歳以上	1	2		1				4
小計	1	15	16	12	4	8	0	56
定数	58							

令和8年4月1日現在

予 防 編



【甲種防火管理新規講習】

1 防火対象物一覧表（150㎡以上のもの）

政令別表の 区分		防火対象物の別	防火対象物の数
1	イ	劇場・映画館・観覧場等	
	ロ	公会堂・集会場	43
2	イ	キャバレー・ナイトクラブ等	
	ロ	遊技場・ダンスホール	1
	ハ	風俗営業店等	
	ニ	カラオケボックス等	
3	イ	待合・料理店等	1
	ロ	飲食店	15
4		百貨店・マーケット等	17
5	イ	旅館・ホテル等	
	ロ	寄宿舎・共同住宅等	255
6	イ	病院・診療所等	11
	ロ	乳児院・重度の福祉施設等	4
	ハ	保育所・軽度の福祉施設（老人福祉センター）等	19
	ニ	幼稚園・特別支援学校	11
7		小学校・中学校・高等学校等	26
8		図書館・博物館等	1
9	イ	公衆浴場（蒸気浴場・熱気浴場等）	
	ロ	公衆浴場（蒸気浴場・熱気浴場等以外）	1
10		車両の停車場等	2
11		神社・寺院・教会等	16
12	イ	工場・作業場	57
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	
13	イ	自動車車庫・駐車場	6
	ロ	飛行機・回転翼航空機の格納庫	
14		倉庫	51
15		事業場（1項～14項以外）	160
16	イ	特定複合用途防火対象物	52
	ロ	非特定複合用途防火対象物	17
17		重要文化財、重要有形民俗文化財等	3
合計			769

令和8年4月1日現在

2 消防用設備等の設置の状況

消防用設備等の区分 政令別表の区分		消火設備				警報設備			避難設備		消火活動上必要な設備					
		屋内消火栓設備	スプリンクラー設備	水噴霧消火設備等	屋外消火栓設備	動力消防ポンプ設備	自動火災報知設備	漏電火災警報器	非常警報設備	避難器具	誘導灯	消防用水	排煙設備	連結散水設備	連結送水管	非常コンセント設備
1	イ															
	ロ	1					9		36	4	43					
2	イ															
	ロ						1		1		1					
	ハ															
	ニ															
3	イ	1					1			1	1					
	ロ						3		11	2	15					
4		3	2	2			11		10		17	1	1	1	1	
5	イ															
	ロ	4		4			35	7	11	16	16				7	1
6	イ	1	2	1			5		8	1	15	1			1	
	ロ		4				5		1	2	4					
	ハ		2				13		6	6	22					
	ニ	2					9		5	3	12					
7		14							16	3	3					
8		1	1	1					1		1	1			1	1
9	イ															
	ロ	1							1		1					
10											1					
11																
12	イ	20		1	4	2	39	1	1		19	2			1	
	ロ															
13	イ			5			3				2					
	ロ															
14		5				1	14				7				1	1
15		27	2	12	9		69	1	39	12	58	9			6	1
16	イ	3	4	3			28		15	10	46	1	3		3	
	ロ	2		1			4		2	3	1					
17							2									
合計		85	17	30	13	3	280	9	164	63	285	15	4	1	21	4

(棟用途ごとに算出)

令和8年4月1日現在

3 製造所等別の許可、完成検査及び廃止届等の状況

製造所等の別 区分		製造所	貯蔵所						取扱所					合計		
			屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	小計	給油取扱所	第1種販売取扱所	第2種販売取扱所	移送取扱所		一般取扱所	小計
許可	設置				1			1						7	7	8
	変更 (設置場所変更を除く)		1		1		1	3						12	12	15
	設置場所 変更	他許可行政庁に転出						0							0	0
	他許可行政庁から転入							0							0	0
完成検査	設置		1		1			2						6	6	8
	変更			1			1	2							0	2
	他許可行政庁 から転入							0							0	0
廃止届等					2			2						1	1	3
完成検査前に設置許可 の取り消し処分								0							0	0

令和7年度中

4 危険物施設の仮使用、危険物の仮貯蔵及び仮取扱の状況

製造所	仮使用													仮貯蔵	仮取扱	合計
	貯蔵所							取扱所								
	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	小計	給油取扱所	第1種販売取扱所	第2種販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所	小計			
		1					1						0			1

令和7年度中

5 危険物施設の状況

製造所等の別 区分		製造所	貯蔵所						取扱所					合計			
			屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	小計	給油取扱所	第1種販売取扱所	第2種販売取扱所	移送取扱所		一般取扱所	小計	
数量の 倍数別	5倍以下		7	1	3	7		2	20					4	4	24	
	5倍を超え10倍以下	1	6			6			12					2	2	15	
	10倍を超え50倍以下		2	2		6			10	1				11	12	22	
	50倍を超え100倍以下					20			20	1					1	21	
	100倍を超え150倍以下								0	2					2	2	
	150倍を超え200倍以下								0						0	0	
	200倍を超え1,000倍以下					1			1	4				2	6	7	
	1,000倍を超え5,000倍以下								0						0	0	
	5,000倍を超え10,000倍以下								0						0	0	
	10,000倍を超えるもの								0						0	0	
合計		1	15	3	3	40	0	2	63	8	0	0	0	19	27	91	
類別	単独	第1類							0						0	0	
		第2類							0						0	0	
		第3類							0						0	0	
		第4類	1	15	3	3	40		2	63	8				19	27	91
		第5類								0						0	0
		第6類								0						0	0
	混在								0						0	0	
合計		1	15	3	3	40	0	2	63	8	0	0	0	19	27	91	

令和8年4月1日現在

6 防災組織等の状況

(1) 婦人防火クラブ

家庭における火災予防に関する知識の習得、地域全体の防火意識の高揚などを目的に活動しています。

火災等の災害から我が家を守るという自覚のもとに、防火について研究・実行し、普及させ、火災のない平和で明るいまちづくりのため、消防本部・消防団と協力して、地域の火災予防の徹底を図ることを目的として、活動しています。

婦人防火クラブ名称	結成年月日	クラブ員数
植田婦人防火クラブ	昭和58年 3月 1日	26

令和8年4月1日現在

(2) 幼年消防クラブ

幼年期から防火防災に係る知識を習得し、災害時において必要な身体保護の習得を図ることを目的としています。

また火災の恐ろしさを学ぶため、正しい火の取り扱いについての知識を身につけるとともに、消防への関心を持ってもらいます。

町内の幼稚園、保育所で組織しています。

幼年消防クラブ名称	結成年月日	クラブ員数
精華聖マリア幼稚園幼年消防クラブ	昭和60年 4月 11日	224
光が丘幼稚園幼年消防クラブ	〃	148
ほうその保育所幼年消防クラブ	〃	152
こまだ保育所幼年消防クラブ	〃	138
いけたに保育所幼年消防クラブ	平成 3年 7月 1日	87
星の光幼稚園幼年消防クラブ	平成12年 4月 24日	121
ひかりだい保育所幼年消防クラブ	〃	159
せいかだい保育所幼年消防クラブ	平成17年 4月 1日	148

令和8年4月1日現在

(3) 精華町防火委員会

昭和57年9月1日結成

町内で結成されている幼年消防クラブ及び婦人防火クラブの組織の育成・強化及び防火に関する知識の向上に努め、その発展を図ることを目的とし組織されています。

(4) 消防支援ボランティア

平成11年1月17日結成

町内在住の元消防職・団員の希望者がボランティア登録を行い、地震等の災害が発生した場合に、消防本部・消防団が行う消火、救助、救急活動等の消防活動を支援することを目的に結成されています。

なお、令和8年4月1日現在、51名の方が登録されています。

7 防火指導の状況

項目	回数	参加人数					合計
		成人	小学生 中学生	未就学児 〔幼年消防 クラブ含む〕	婦人防火 クラブ	自主 防災組織	
防火映画会	6	110	13	521	6		650
露店指導	3	52					52
消火器取扱説明会	17	526				137	663
消防器具取扱説明会 (消火栓取扱)	13	354	169			191	714
各種研修会・講習会	1	13					13
花火指導	6	110	13	521	6		650
地震体験会	3					138	138
法8訓練(※)	80	2,805	491	2,531		4	5,831
煙体験	2					233	233
その他	1	43					43
合計	131	4,013	686	3,573	12	703	8,987

令和7年中

※「法8訓練」：消防法で定められた防火管理者を置く事業所が行う自衛のための訓練をいう。

通信指令編



【高機能消防指令センター】

1 消防無線の設置の状況

基地局

識別信号（呼出名称）	電力	使用波			備考
		活動波 1/2	主運用波	統制波 1/2/3	
せいかほんぶ	10W	○	○	○	消防本部

陸上移動局：車載型

識別信号（呼出名称）	電力	使用波			備考
		活動波 1/2	主運用波	統制波 1/2/3	
せいかポンプ1	10W	○	○	○	普通消防ポンプ車1号
せいかポンプ2	10W	○	○	○	普通消防ポンプ車2号
せいかすいそう1	10W	○	○	○	水槽付きポンプ車
せいかきゅうじょ1	10W	○	○	○	救助工作車
せいかダンプ1	10W	○	○	○	軽ダンプ
せいかきゅうきゅう1	10W	○	○	○	救急車1号
せいかきゅうきゅう2	10W	○	○	○	救急車2号
せいかしれい1	10W	○	○	○	指令車
せいかすいぼう1	10W	○	○	○	水防車
せいかしきはんそう1	10W	○	○	○	水防資機材搬送車
せいかしき1	10W	○	○	○	指揮車
せいかささつ1	10W	○	○	○	査察車
せいかだんしき1	10W	○	○	○	消防団指揮広報車
せいかひじょうきゅうきゅう1	10W	○	○	○	非常救急車
せいかふぼう1	10W	○	○	○	広報車

陸上移動局：携帯型

識別信号（呼出名称）	電力	使用波			備考
		活動波 1/2	主運用波	統制波 1/2/3	
せいかけいたい0	5W	○	○	○	
せいかけいたい1	5W	○	○	○	
せいかけいたい2	5W	○	○	○	
せいかけいたい3	5W	○	○	○	
せいかけいたい11	5W	○	○	○	
せいかけいたい12	5W	○	○	○	
せいかけいたい13	5W	○	○	○	
せいかけいたい21	5W	○	○	○	
せいかけいたい22	5W	○	○	○	
せいかけいたい23	5W	○	○	○	
せいかけいたい31	5W	○	○	○	
せいかけいたい32	5W	○	○	○	
せいかけいたい33	5W	○	○	○	
せいかけいたい51	5W	○	○	○	
せいかけいたい52	5W	○	○	○	

陸上移動局：可搬型

識別信号（呼出名称）	電力	使用波			備考
		活動波 1/2	主運用波	統制波 1/2/3	
せいかたくじょう1	10W	○	○	○	

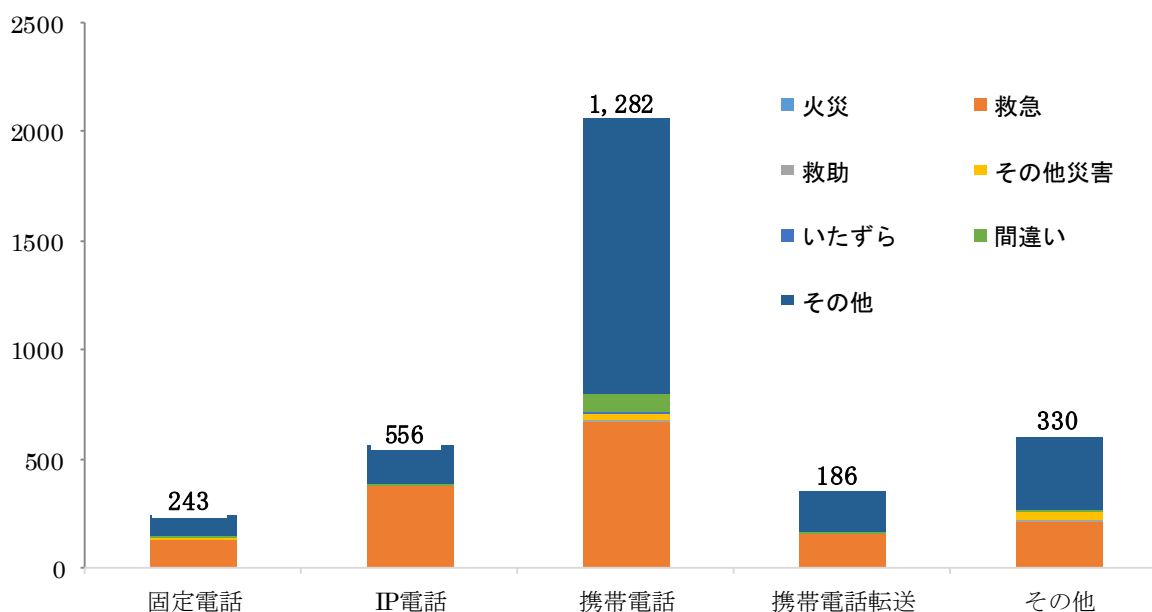
令和8年4月1日現在

2 119番通報の状況

通報方法 災害区分	固定電話	I P 電話	携帯電話	携帯電話転送	その他	合計
火災	1	4	3	1	1	10
救急	126	372	672	153	215	1,538
救助	0	0	7	2	8	17
その他災害	7	5	28	3	32	75
いたずら	0	0	2	1	2	5
間違い	9	9	83	5	11	117
その他	100	166	487	21	61	835
合計	243	556	1,282	186	330	2,597

令和7年中

通報方法による災害区分割合



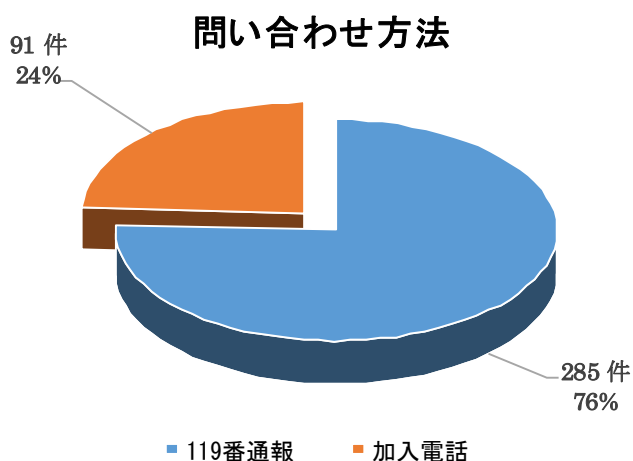
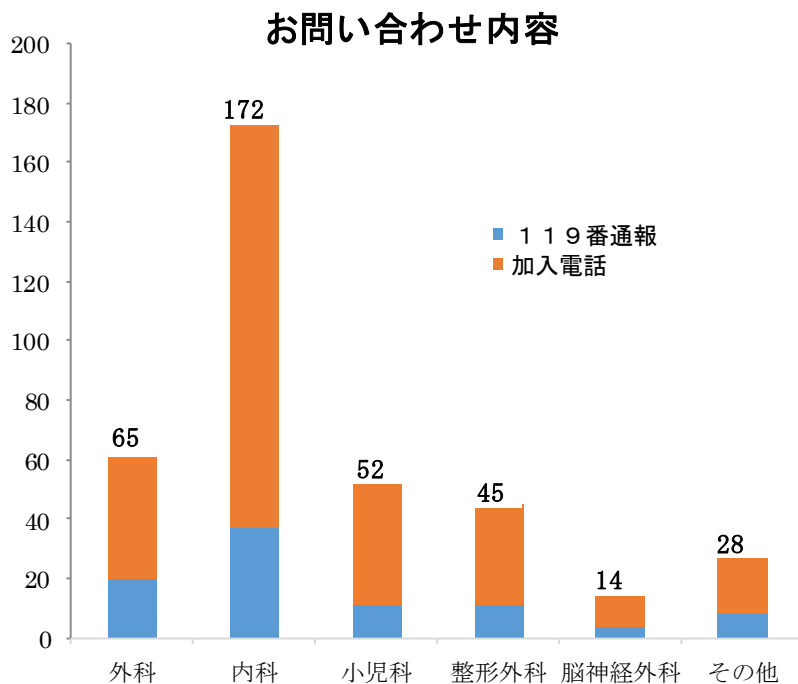
3 病院紹介の状況

問い合わせ内容 問い合わせ方法	外科	内科	小児科	整形外科	脳神経外科	その他	合計
119番通報	20	37	11	11	4	8	91
加入電話(※)	45	135	41	34	10	20	285
その他							0
合計	65	172	52	45	14	28	376

令和7年中

※「加入電話」：病院紹介用の加入電話にて病院紹介を行ったもの。

病院紹介用電話番号【精華町消防本部 指令救急課指令係 0774-94-4197】



4 気象の状況（精華町消防本部）

月	風向・風速 (m/s)				気温 (°C)			湿度 (%)				雨量 (mm)			
	平均		最大		平均	最高	最低	平均	最高	最低	実効	最大			積算
	風速	風向	風速	風向								10分	時間	日	
1月	1.6	S	16.9	WSW	4.5	14.8	-3.6	66.9	96.3	21.6	66.9	1.0	2.0	10.0	17.0
2月	1.9	NW	20.2	W	3.8	14.6	-4.4	65.3	96.3	11.3	64.7	0.5	2.0	5.0	16.5
3月	1.8	NNW	17.7	NW	9.5	25.6	-2.1	67.3	96.3	12.5	67.8	3.5	10.5	17.0	59.5
4月	1.7	S	16.4	WSW	14.8	30.6	2.3	61.5	96.9	8.3	61.3	5.0	7.0	10.5	66.0
5月	1.9	ESE	16.3	WSW	19.3	32.3	5.8	64.8	96.1	7.7	64.0	7.0	24.0	50.0	157.5
6月	1.4	WNW	13.7	WSW	24.7	38.1	12.9	70.3	97.2	13.3	69.9	10.0	16.0	57.5	247.0
7月	1.6	SE	17.2	SSW	29.7	40.3	24.1	64.4	93.8	24.9	64.8	5.5	8.0	33.5	55.0
8月	1.4	S	16.6	WNW	29.9	39.7	22.6	66.2	94.9	23.8	65.7	6.5	15.5	15.5	53.0
9月	1.6	S	14.0	ESE	26.9	37.5	16.2	69.2	95.5	22.2	68.3	10.0	32.5	36.5	142.5
10月	1.5	ESE	11.4	NW	19.7	31.5	5.7	75.9	96.6	24.4	75.3	7.5	17.0	35.5	130.0
11月	1.3	S	15.5	NNW	11.5	21.3	2.7	74.7	96.9	23.3	74.7	2.5	5.5	21.0	36.5
12月	1.5	S	16.8	W	7.6	20.4	-1.9	73.8	97.5	30.5	73.6	2.0	9.5	27.5	53.5
累計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1,034.0
平均	1.6	S	—	—	16.8	—	—	68.4	—	—	68.1	—	—	—	—
最高	9.4	NW	20.2	W	—	40.3	—	—	97.5	—	85.4	10.0	32.5	57.5	247.0
最低	—	—	—	—	—	—	-4.4	—	—	7.7	52.7	—	—	—	—

令和7年中

5 気象注意報・警報等の発表の状況（精華町）

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
大雨特別警報													0
大雪特別警報													0
暴風特別警報													0
暴風雪特別警報													0
大雨警報							1						1
洪水警報							1						1
暴風警報													0
暴風雪警報													0
大雪警報													0
大雨注意報						2	6	4	4				16
洪水注意報							2	1					3
強風注意報									1				1
風雪注意報													0
大雪注意報		1											1
雷注意報		1	4	5	7	6	24	21	9	7	3	4	91
融雪注意報													0
濃霧注意報			1	1							3		5
乾燥注意報	1	1	3	8	4	2	3	1	2	1			26
なだれ注意報													0
低温注意報													0
霜注意報			11	9	2								22
着氷注意報													0
着雪注意報													0
火災気象通報	3	3	9	16	9	4	7	4	3	1			59

令和7年中

警 防 編



【文化財防火デーの消防訓練】

1 消防機械の配置の状況（消防本部・署）

種別	メーカー	年式	排気量 (cc)	ポンプ 級別	備考
普通消防ポンプ車1号	日野	H23年	4,000	A-2	CD-I型 水槽 700 ^{リットル}
普通消防ポンプ車2号	日野	R2年	4,000	A-2	CD-I型 水槽 600 ^{リットル}
水槽付き消防ポンプ車	三菱	H12年	8,200	A-2	I-A型 水槽 1,500 ^{リットル}
軽支援車	ダイハツ	R8年	650		
救助工作車	日野	H24年	6,400		照明装置 クレーン装置
救急車1号	トヨタ	R6年	2,690		高規格救急車
救急車2号	トヨタ	R2年	2,690		高規格救急車
非常用救急車	トヨタ	H29年	2,690		高規格救急車
指揮車	トヨタ	R8年	2,690		
指令車	ホンダ	R3年	1,490		ハイブリッド車
水防車	いすゞ	R3年	2,990		最大積載量 3 ^{トン} パワーゲート
資機材搬送車	三菱	R7年	2,990		最大積載量 2.7 ^{トン} クレーン装置 パワーゲート
広報車	ニッサン	H29年	1,990		広報マイク設備
査察車	ダイハツ	R2年	650		
訓練指導車	マツダ	H20年	1,990		消火・通報訓練設備
赤バイク1号	ホンダ	H2年	49		
赤バイク2号	ホンダ	H10年	49		
小型動力ポンプ	トーハツ	H16年	554	B-3	横型2気筒 空冷2ストローク
小型動力ポンプ ※軽支援車積載	トーハツ	R8年	500	B-2	直列3気筒 水冷4ストローク

令和8年4月1日現在

2 特殊機械器具等の配置の状況

	品名	仕様	数量	性能
消 火 用 器 具	ジェットシューター	容量18 $\frac{1}{2}$ ℓ	25	放水射程 10m
	組立水槽	C型ビニールターボワン耐酸性	2	容量 1.5 $\frac{1}{2}$ ℓ
	組立水槽	角型K2	3	容量 2.5 $\frac{1}{2}$ ℓ
	放水銃	65mm 21/2B	1	放水角度 無段階調整
	無反動65用eノズルフォルダー	ガンタイプノズル型 PFH-65K	4	
	無反動40用eノズルフォルダー	ガンタイプノズル型 PEH-40A	7	
	クアドラフォグノズル	可変40mmフォグガン	11	流量調節機能付き
	フリップチッププラスノズル	40mmタービンティースタイプ	3	
救 助 用 器 具	チタン製三連はしご	関東梯子、モリタ	4	全伸梯時長さ8.7m
	アリゾナボーテックス		1	最大支点高さ2.7m
	救助用三脚	PROTECTA ロールグリス	1	
	かぎ付きはしご		5	チタン製
	折りたたみはしご		2	チタン製
	ワイヤーはしご		3	7m/7m/15m
	救命索発射銃	口径63mm ミロク式M-300	1	ゴム弾:120m/救命浮環:100m
	可搬式ウインチ	チルホール TU-16	3	けん引能力1.6 $\frac{1}{2}$ ℓ
	セキュネット	ホルマトロ製	1	二次的膨張防止
	ステップチョークAセット	ステップチョーク/ウエッジ	1式	使用荷重100kg/cm ²
	ロックブロックBセット	ロックブロック/ウエッジ	1式	使用荷重100kg/cm ²
	ハイパワーカッター	ホルマトロ製	2	
	ハイパワースプレッター	ホルマトロ製	2	
	油圧エンジンポンプ	ホルマトロ製	2	最大作動圧力72Mpa
	ハンドポンプ	ホルマトロ製	2	
	マット型空気ジャッキ一式	KPI-5/17/22/32/44(2個同時使用可)	1	荷重4.6 $\frac{1}{2}$ ℓ~45.6 $\frac{1}{2}$ ℓ
	エンジンカッター	K1200-II/K760/K970/K770 ハスクバーナ	4	
	ガス容断器(ニューチョバック)		2	連続60分間切断可能
	チェーンソー	ハスクバーナ、マキタ	2	
	ワイヤーバスケット(タイタンT1)		1	チタン製
	バスケットストレッチャー	モデル71	1	
	空気呼吸器	ドレーゲル製/重松製	32	
	携帯警報器	スーパーパス	21	
	空気ボンベ(4.7 $\frac{1}{2}$ ℓ)	MSA、重松製	48	充填圧力:29.4mpa
	空気ボンベ(6.8 $\frac{1}{2}$ ℓ)	MSA、重松製	25	充填圧力:29.4mpa
	化学防護服	防護服レベルA×10/レベルB×8/レベルC×11	29	
	メタハラ投光器(可搬式)	MP-150AB-WG	5	150万cd
	移動式投光器(ミニテラスター)	2D-6470	1	発電機付/水銀灯400W×2
	発電機	YAMAHA EF2500i	1	定格出力2.5KVA
	発電機	HONDA	1	
	高圧コンプレッサー	AK13BPX W形四段圧縮空冷式	1	最大吐出圧力29.4mpa
	スタティックロープ	CMC製	5	100m×5
	シングルプーリー	CMC製	7	破断強度56KN
	ダブルプーリー	CMC製	4	破断強度56KN
セルフブレイキ下降器	ペツル社製 アイディ	2	パニック防止付き	
フルハーネス型のランヤード	ペツル社製アサップロック付きランヤード	4		
下降器	CMC製 MPD	1		

救助用具	ロードリリースストラップ	CMC製	2	破断強度36KN
	ロープクランプ	ペツル社製 アッセンション	4	左用×2/右用×2
	救助用ハーネス	ペツル社製 フルハーネス	9	
	救助用縛帯	ペツル社製 ピタゴール	3	
	リギングプレート	CMC製 アンカープレート	2	破断強度45KN
	グラスマスター	ウインドボンチ付	3	
	携帯拡声器(ハンドマイク)		6	
	トランシーバー	スタンダード社製	28	
	救命胴衣	NQS-7型 TK-14A	17	浮力約8.0kg
	救命ボート	F-12A(船外機取付可能)	1	7人乗(アルミ製)
	インフレーターボート(救助ボート)	アキレス社製	4	6人乗り×2、8人乗り×2
	防災ウェーダー	BW-62	10	
	ウェットスーツ	TUSA社製	6	
	PFD JPモデル	ブルーストーム	6	浮力約10.7kg
	スイフトウォーターヘルメット	CMC製	10	
	削岩機	COBRA	1	
	探索カメラ	プロカムPC-780S	1	伸長時4.2m/収縮時0.93m
	熱画像カメラ	アルゴス4-320/アルゴスMi-TICS	2	スポット温度範囲0~800℃
	個人線量計	PDM-222-SH	4	γ線 x線
	線量率測定器	RadEye G-10	1	γ線 x線
表面汚染検査計	RadEye B-20	1	α線 β線 γ線 x線	
ペダルカッター	オグラ社製 OMC-923	1	切断力70.6KN	
ガス測定器	GX-6000、GX-3R(理研)	2		
レスキューパーティカルストレッチャー	FERNO社製	1		
コードレスコンピツール	オグラ社製	1		
チップソーカッター	マキタ社製	2		
エアータント	芦森工業 ジェットエアータントG SAT-453	1		
救急用具	スマートフォン		3	救急救命処置指示要請等
	患者監視装置	日本光電製 ライフスコープ	3	心電図、非観血圧、血中酸素飽和度
	体温計	テルモ製 電子体温計	3	低体温対応
	血圧計	アネロイド型(ハンド式)	2	
	血圧計	テルモ製 エレマノ2	1	電子式
	血圧計	エー・アンド・デイ製 UA-1020B	3	
	血中酸素飽和度測定器	マシモジャパン製 マイティサット	3	
	血糖測定器	アークレイ製 グルコカード/グルコカードプライム	3	
	半自動除細動器	日本光電製	5	成人、小児対応
	自動式心マッサージ器	スキャンフィル製 LUCAS2	1	
	自動式心マッサージ器	高研メディカル製 Clover3000	3	呼吸管理機能付
	人工呼吸器	高研メディカル製 ANSWER	2	
	人工呼吸器	ワインマン製 メデュマット・イージー・CPR	1	
	酸素吸入装置	Oxpac/OxpacⅢS	3	加湿流量計付
	酸素ボンベ	1200ml酸素ボンベ	18	救急車積載用
	酸素ボンベ	840ml酸素ボンベ	15	現場携行用
	酸素ボンベ	300ml酸素ボンベ	6	Clover3000駆動用
	ビデオ硬性挿管用喉頭鏡	日本光電製 エアウェイスコープ	3式	
	喉頭鏡	Timesc製 喉頭鏡	6式	成人用/小児用
	人工蘇生器	アンブ蘇生バッグ マークⅣ	7式	成人用/小児用
電動吸引器	三幸製作所製 パワーミニック	4	血液、嘔吐物等の吸引	

救急用具	電動吸引器	三幸製作所製 パワーミニックⅡ	1	血液、嘔吐物等の吸引
	電動吸引器	ATOMOS製 アキュバック・プロR	1	血液、嘔吐物等の吸引
	全身固定用器具	FERNO製 ハイテクバックボード	7式	成人用
	全身固定用器具	FERNO製 スクープストレッチャー	4	成人用
	全身固定用器具	FERNO製 ペディバック	4	小児用
	損傷部位固定用資機材	FERNO製 バキュームスプリント	4	陰圧式固定用資機材
	担架	日本船舶薬品製 ターボリン担架	12	防水性布担架
	傷病者搬送用資機材	FERNO製 モンディアール トランスポーター	2	
	傷病者搬送用資機材	日本スライカー製 Power-PRO XT	1	電動油圧昇降式
	輸液ポンプ	テルモ製 TE-161S/TE-281	2	
	心肺蘇生訓練人形	レールダル製 レサシアン	7	成人用心肺蘇生法訓練人形
	心肺蘇生訓練人形	レールダル製 レサシジュニア	3	少年用心肺蘇生法訓練人形
	心肺蘇生訓練人形	レールダル製 レサシベビー	1	乳児用心肺蘇生法訓練人形
	心肺蘇生訓練人形	レールダル製 リトルアン	5	成人用心肺蘇生法訓練人形 (上半身)
	心肺蘇生訓練人形	レールダル製 リトルベビー	1	成人用心肺蘇生法訓練人形
	高度救命処置シュミレーター	高研メディカル製 LM073	1	気管挿管訓練人形
	気道管理トレーナー	レールダル製 25000033	1	
	AEDトレーナー	レールダル製 / 日本光電製	6	
	除染テント	太陽工業製 オゾン除菌テント	1	
	電動送風機	太陽工業製 除染テント用電動送風機	1	
紫外線殺菌灯	スペースライザー/オゾンUVエアクリア	2		
オゾンガス消毒器	TECO製 BT-088	1		
オゾン生成器	TECO製 TM-11MFE	2		

令和8年4月1日現在

3 消防水利の現状

管区別		10管区	20管区	30管区	40管区 (桜が丘)	50管区 (光台)	60管区 (精華台)	合計	
防火水槽	公設	総数	58	60	30	21	33	18	220
		適合	55	60	30	21	33	18	217
		適合外	3						
	私設	総数	18	11	5	2	49	49	134
		適合	17	11	5	2	49	48	132
		適合外	1					1	2
消火栓	公設	総数	267	297	132	128	191	166	1,181
		適合	182	176	53	126	171	164	872
		適合外	85	121	79	2	20	2	309
	私設	総数							0
		適合							0
		適合外							0
プール	公設	総数	2	1		2	2	1	8
		適合	2	1		2	2	1	8
		適合外							0
	私設	総数			1			1	2
		適合			1			1	2
		適合外							0

令和8年4月1日現在

※「適合」:「消防水利の基準」に適合している消防水利をいう。

※「井戸」「沼」「池」等の消防水利は無い。

火災編



【火災想定訓練】

1 火災の概要

令和7年中に町内で発生した火災は10件であり、前年より5件増加となりました。

また、火災の内訳については、建物火災5件、林野火災1件、車両火災4件でした。

「火災」の定義

火災とは、以下の3つの要素が含まれているものをいいます。

- 「人の意図に反し発生し若しくは拡大し、又は放火により発生した
もの。」
- 火災の
3要素 「消火の必要がある燃焼現象」
- 「消火施設又はこれと同程度の効果のあるものの利用を必要とする
もの。」

2 月別の火災発生状況

項目		月												合計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
火災 件数	建物	1	1		1			1			1			5
	林野			1										1
	車両	2	1										1	4
	その他													0
焼損 棟数	全焼										1			1
	半焼													0
	部分焼	1	1		1									3
	ぼや	2						1						3
	爆発損壊棟数													0
り災 世帯	全損													0
	半損													0
	小損	2	1		1									4
り災人員		4	4		3									11

項目		月												合計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
焼損面積等	建物 (㎡)	5	9		1						14			29
	林野 (a)			20										20
	車両 (台)	3	1										3	7
	その他 (㎡)			770							659			1,429
死傷者	死者													0
	負傷者	1	1		2									4

※焼損面積 (㎡) (a) : 小数点以下を四捨五入し算出。

令和7年中

項目		月												合計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
損害見積額	建物	281	2,439		260			30			84			3,094
	収容物													0
	林野			1										1
	車両	3,956	13										235,989	239,958
	その他													0
合計		4,237	2,452	1	260	0	0	30	0	0	84	0	235,989	243,053

(単位：千円)

令和7年中

3 曜日別、覚知別の火災発生の状況

曜日	専用電話 (固定電話)	専用電話 (携帯電話)	加入電話	事後聞知	駆け付け	その他	合計
月曜日		1					1
火曜日		2					2
水曜日	1						1
木曜日	1						1
金曜日	1						1
土曜日	1						1
日曜日	1	1	1				3
合計	5	4	1	0	0	0	10

令和7年中

4 時間帯別、種別別の火災発生状況

時間	建 物	林 野	車 両	そ の 他	合 計
0 時～3 時まで			1		1
3 時～6 時まで					0
6 時～9 時まで					0
9 時～12 時まで	1		2		3
12 時～15 時まで	2	1			3
15 時～18 時まで			1		1
18 時～21 時まで					0
21 時～24 時まで	2				2
時間不明					0
合 計	5	1	4	0	10

令和7年中

5 火災原因別の発生状況

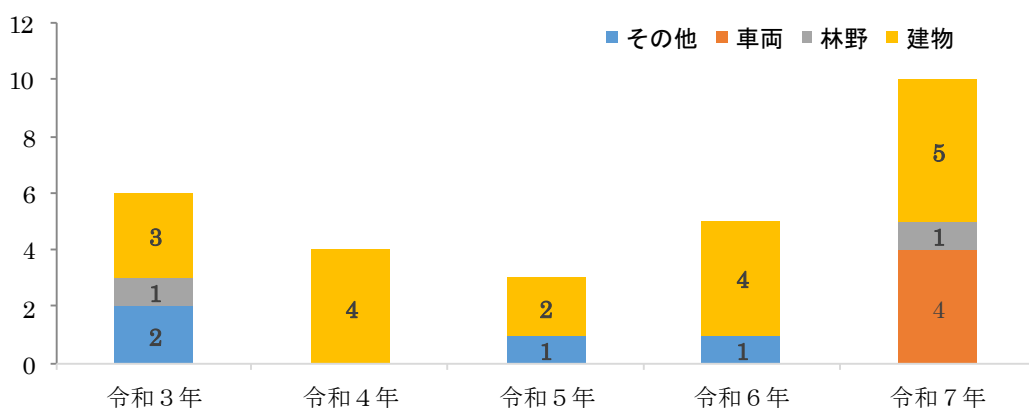
種別	原因	放火 放火の疑い	たばこ	コンロ	ストーブ	電気機器 電気配線	火遊び	その他	合計
建物火災			1	1		1		2	5
林野火災								1	1
車両火災		1						3	4
その他火災									0
合 計		1	1	1	0	1	0	6	10

令和7年中

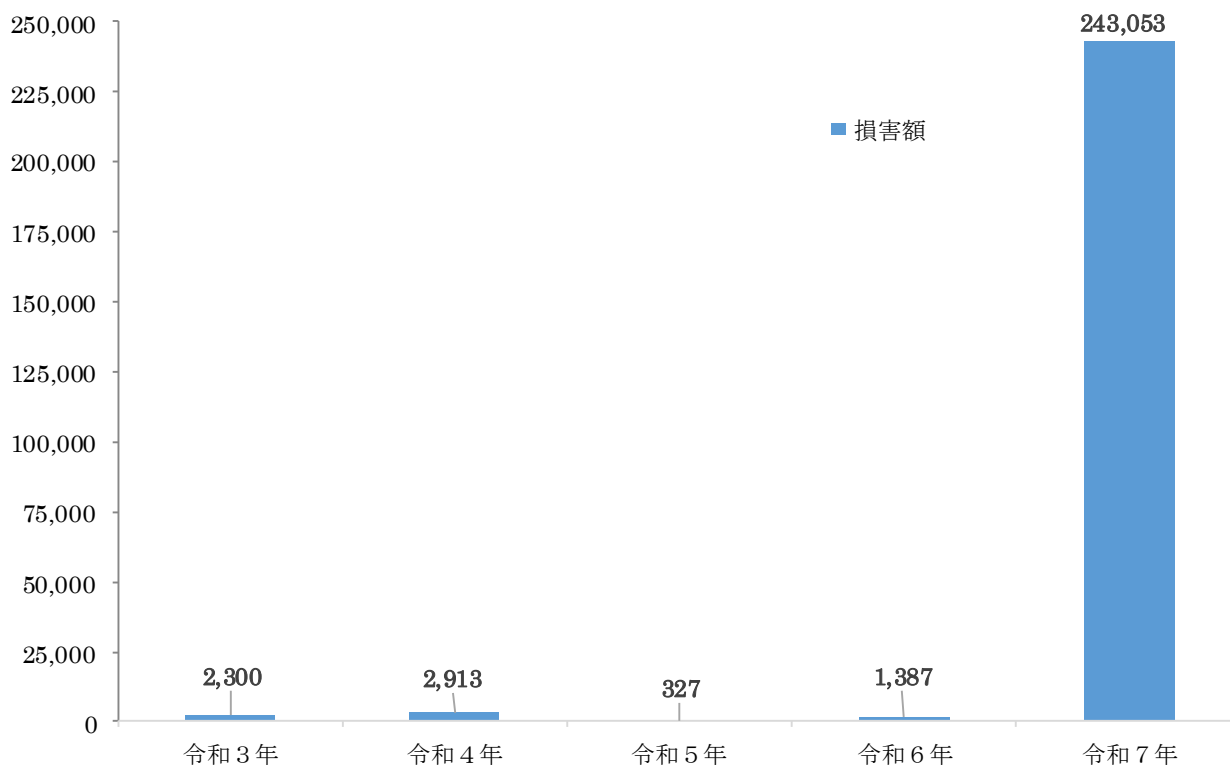
6 過去5年間の火災件数の推移

年	種別	発生件数					損害額 (千円)
		建物	林野	車両	その他	合計	
令和3年		3	1		2	6	2,300
令和4年		4				4	2,913
令和5年		2			1	3	327
令和6年		4			1	5	1,387
令和7年		5	1	4		10	243,053

過去5年間の火災件数



過去5年の損害額（千円）



7 月別、種別別の消防事故発生の状況

月	種別	無 損	破 裂	漏えい・流出	電 気	燃焼放置	発 報	合 計
1月		1					4	5
2月		1					1	2
3月		1					3	4
4月		1		1		2	1	5
5月							2	2
6月		1		2			2	5
7月		1		4			1	6
8月		1		1			7	9
9月		1		1			5	7
10月		2		4			3	9
11月						2	3	5
12月				1			4	5
合計		10	0	14	0	4	36	64

令和7年中

- ※消防事故 火災危険があったものの、火災事件として扱わない事案等をいう。
- 無損 人の意に反し、若しくは放火により発生した燃焼現象又は人の意図に反した爆発現象のうち、社会通念上公共危険も認められず、かつ被害程度が軽微であるもの。
- 破裂 破裂現象（燃焼現象によらないボイラーの内圧槽による破裂等の物理的破裂をいう。）
- 漏えい・流出 消防活動危険物質及び都市ガス等の漏えい、流出及び二次的災害危険を生じたもの。
- 電気 電気機器、配線が電気的原因によって発熱、発火し、当該物件自体の焼損にとどまったもの。
- 燃焼放置 焚き火の放置、火気設備、器具の異常燃焼、煙突からの火の粉の飛散等によりこれを放置すれば火災危険が生じるおそれのあるもの。
- 発報 自動火災報知設備等の自然（機械的故障を含む）若しくはいたずら発報、火災報知専用電話によるいたずら若しくは誤報（くん煙殺虫剤等によるものを含む）通報によるもの。

救急編



【高規格救急車 1 号】

1 救急の概要

令和7年中に町内で発生した救急は1,577件であり、前年より11件減少しました。

また、救急の内訳については、急病953件、一般負傷332件、その他141件が上位を占めています。

2 月別の救急出動の状況

種別 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災	2	2		3		1	2	1		3		1	15
自然災害													0
水難													0
交通	5	3	9	4	4	13	10	12	10	14	4	9	97
労働災害	1	2	2	1		2	1	1	4		2	1	17
運動競技		2			3		1	1	2	1			10
一般負傷	28	37	32	28	24	19	27	26	27	21	37	26	332
加害						1				1			2
自損行為		1	1	1		2	2	1	1			1	10
急病	97	85	74	58	81	91	76	79	80	64	88	80	953
その他	10	10	16	18	8	9	6	13	14	11	17	9	141
合計	143	142	134	113	120	138	125	134	138	115	148	127	1,577
内、不搬送	6	8	4	11	6	11	12	7	1	13	8	11	98

令和7年中

救急出動の月平均出動件数・一日平均出動件数

月平均出動件数 131.4件 出動件数 1,577件 / 12ヶ月
 一日平均出動件数 4.3件 出動件数 1,577件 / 365日

3 曜日別の救急出動の状況

曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	合計
件数	232	216	217	235	238	241	198	1,577

令和7年中

4 時間帯別の救急出動の状況

時間帯	件数
0時～ 2時	66
2時～ 4時	42
4時～ 6時	45
6時～ 8時	94
8時～ 10時	182
10時～ 12時	212
12時～ 14時	218
14時～ 16時	179
16時～ 18時	157
18時～ 20時	149
20時～ 22時	127
22時～ 24時	106
合計	1,577

令和7年中

5 病院別の搬送人員の状況

病院名	人数
精華町国民健康保険病院	8
学研都市病院	393
京都山城総合医療センター	386
京都田辺中央病院	351
京都きづ川病院	8
京都岡本記念病院	63
宇治徳洲会病院	65
高の原中央病院	142
その他（京都府内）	33
その他（京都府外）	38
合計	1,487

令和7年中

6 年齢区分別、事故種別別の救急搬送人員の状況

事故種別 \ 年齢区分	新生児	乳幼児	少年	成年	高齢者	合計
火 災					3	3
自 然 災 害						0
水 難						0
交 通			8	53	32	93
労 働 災 害				15	3	18
運 動 競 技			9	1		10
一 般 負 傷		18	3	60	268	349
加 害				1	1	2
自 損 行 為			2	3	2	7
急 病		38	31	238	564	871
そ の 他		1	1	27	105	134
合 計	0	57	54	398	978	1,487

令和7年中

- ※ 新生児 生後28日未満の者
- 乳幼児 生後28日以上、満7歳未満の者
- 少年 満7歳以上、満18歳未満の者
- 成年 満18歳以上、満65歳未満の者
- 高齢者 満65歳以上の者

7 事故種別別、傷病程度別の救急搬送人員の状況

事故種別 \ 傷病程度	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
火災		1	1	1		3
自然災害						0
水難						0
交通	2	7	15	19		93
労働災害			5	13		18
運動競技			1	9		10
一般負傷	2	86	69	192		349
加害				2		2
自損行為			6	1		7
急病	55	105	235	476		871
その他	8	33	80	13		134
合計	67	232	412	776		1,487

令和7年中

8 夏季における熱中症による救急出動の状況

曜日	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件数					0	6	8	5	2				21

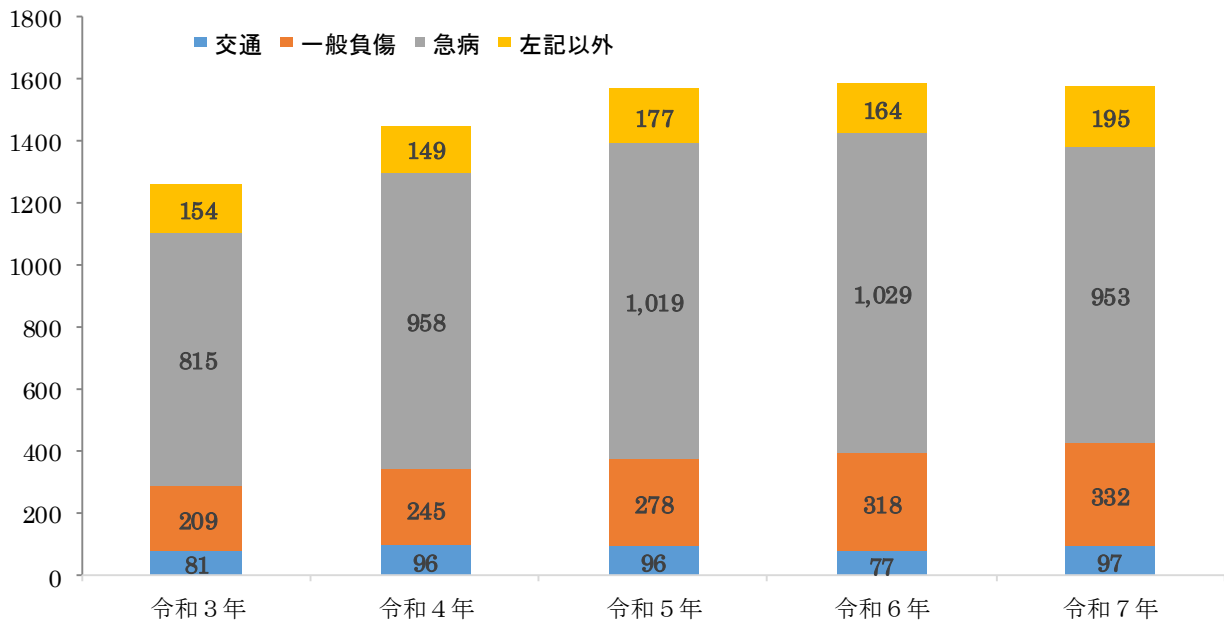
令和7年中

※熱中症（疑いを含む）の事案調査期間については、5月～9月までとする。

9 過去5年間の救急件数の推移

年	事故種別	交通	一般負傷	急病	左記以外	合計
令和3年		81	209	815	154	1,259
令和4年		96	245	958	149	1,448
令和5年		96	278	1,019	177	1,570
令和6年		77	318	1,029	164	1,588
令和7年		97	332	953	195	1,577

過去5年間の救急件数



救 助 編



【特殊災害訓練】

1 救助の概要

令和7年中に町内で発生した救助は17件であり、前年より、1件少ない件数になりました。また、救助の内訳については、交通5件、建物11件、機械1件でした。

2 月別の救助出動の状況

種別	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災														0
交通				1			1	1			2			5
水難														0
自然災害														0
機械							1							1
建物		2	1	1	2	1		1				1	2	11
ガス及び酸欠														0
急病														0
その他														0
合計		2	1	2	2	1	2	2	0	0	2	1	2	17

令和7年中

3 曜日別、覚知別の救助出動の状況

種別	専用電話 (固定電話)	専用電話 (携帯電話)	加入電話	事後聞知	駆け付け	その他	合計
月曜日		2	1				3
火曜日		1	1			1	3
水曜日		1				1	2
木曜日		1				1	2
金曜日		2			1	1	4
土曜日							0
日曜日		2	1				3
合計	0	9	3	0	1	4	17

令和7年中

4 時間帯別、種別別の救助出動の状況

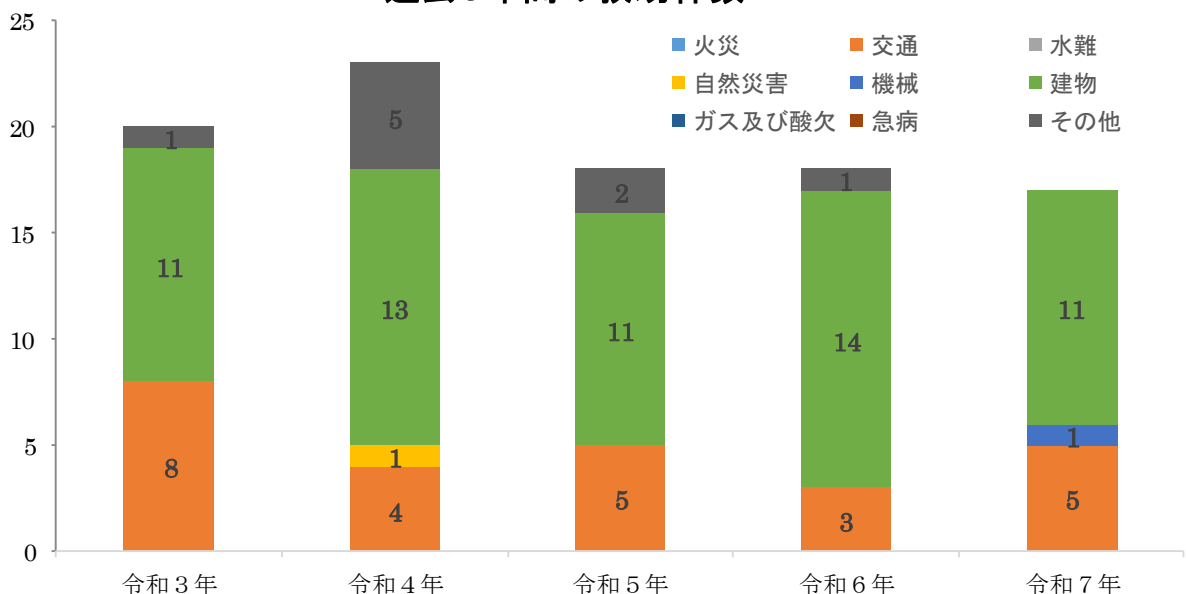
時間帯 \ 種別	火災	交通	水難	自然災害	機械	建物	ガス及び酸欠	急病	その他	合計
0時～3時まで										0
3時～6時まで										0
6時～9時まで		1								1
9時～12時まで					1	3				4
12時～15時まで						1				1
15時～18時まで		2				4				6
18時～21時まで		2				2				4
21時～24時まで						1				1
合計	0	5	0	0	1	11	0	0	0	17

令和7年中

5 過去5年間の救助件数の推移

年 \ 種別	火災	交通	水難	自然災害	機械	建物	ガス及び酸欠	急病	その他	合計
令和3年		8				11			1	20
令和4年		4		1		13			5	23
令和5年		5				11			2	18
令和6年		3				14			1	18
令和7年		5			1	11				17

過去5年間の救助件数

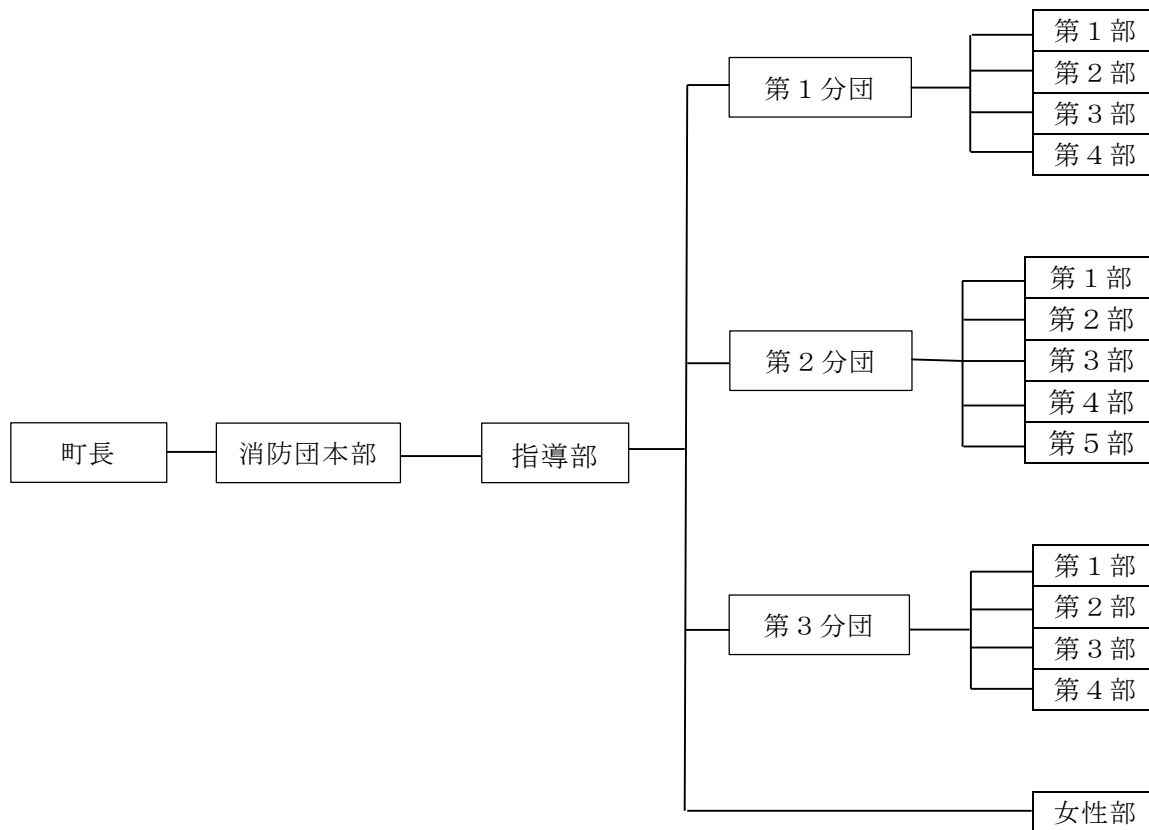


消防団編



【消防団任命式】

1 消防団の組織及び機構



※「消防本部の組織及び機構」は、消防本部《総務編》に記載しています。

2 消防団の所轄区域

区分		所轄区域
消防団本部		精華町
指導部		精華町
第1分団	第1部	菱田・滝ノ鼻・中久保田
	第2部	舟・里・狛田一丁目・狛田二丁目
	第3部	北稲八間
	第4部	僧坊・谷・旭・新精台一丁目・新精台二丁目
第2分団	第1部	西北・東・中
	第2部	南・祝園西一丁目
	第3部	南稲八妻・精華台四丁目・精華台五丁目・精華台九丁目
	第4部	植田・精華台一丁目・精華台二丁目・精華台三丁目・精華台六丁目 精華台七丁目・精華台八丁目
	第5部	菅井・馬淵・北ノ堂
第3分団	第1部	山田・桜が丘一丁目・桜が丘二丁目
	第2部	乾谷・桜が丘三丁目・桜が丘四丁目・光台二丁目・光台四丁目 光台五丁目・光台七丁目
	第3部	柘榴・光台六丁目・光台八丁目
	第4部	東畑・光台一丁目・光台三丁目・光台九丁目
女性部		精華町

3 消防団の状況

(1) 消防団員の定数と実員

階級 区分	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
実員	1	2	3	3	15	42	161	227

令和8年4月1日現在

※消防団員の定数については、合計281人。

(精華町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例)

(2) 消防団員の配置の状況

階級 所属等	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
団本部	1	2	3	3	1	1	—	11
第1分団	—	—	①	①	4	12	48	64 ②
第2分団	—	—	①	①	5	15	68	88 ②
第3分団	—	—	①	①	4	12	43	59 ②
女性部	—	—	—	—	1	2	2	5
合計	1	2	3 ③	3 ③	15	42	161	227 ⑥

注. ○数字は、団本部員と兼務を示す。

令和8年4月1日現在

(3) 消防団員の年齢の状況

階級	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
20歳未満							1	1
20歳～ 年齢25歳未満						4	10	14
25歳～ 30歳未満					2	2	13	17
30歳～ 35歳未満					2	5	13	20
35歳～ 40歳未満					3	4	21	28
40歳～ 45歳未満			1	1	6	8	38	54
45歳～ 50歳未満			1	2	1	3	33	40
50歳～ 55歳未満		1	1		1	12	28	43
55歳以上	1	1					8	10
合計	1	2	3	3	15	38	165	227

令和8年4月1日現在

4 消防団の表彰暦

消防庁長官表彰

昭和55年 3月 5日	竿頭綬を授与される。
平成 5年 3月 3日	表彰旗を授与される。

日本消防協会会長表彰

昭和54年 2月10日	表彰旗を授与される。
平成24年 2月23日	第64回日本消防協会定例表彰「特別表彰まとい」を授与される。

京都府知事表彰

昭和46年10月21日	竿頭綬を授与される。
昭和60年10月23日	表彰旗を授与される。
平成11年 1月28日	特別表彰旗を授与される。

京都府消防協会会長表彰

昭和47年12月 1日	表彰旗を授与される。
平成14年 1月 1日	表彰旗を授与される。

操法大会関連（小型ポンプの部）

昭和51年 8月22日	第3回京都府消防協会相楽支部操法大会優勝。
昭和53年 8月20日	第4回京都府消防協会相楽支部操法大会優勝。
昭和55年 8月22日	第6回京都府消防協会操法大会準優勝。
昭和57年 8月31日	第7回京都府消防協会操法大会優勝。
昭和57年10月11日	第8回日本消防協会操法大会出場。
平成 4年 8月31日	第12回京都府消防協会操法大会5位入賞。
平成14年 7月28日	第14回京都府消防協会相楽支部操法大会準優勝。
平成15年 7月27日	第15回京都府消防協会相楽支部操法大会準優勝。
平成16年 7月25日	第16回京都府消防協会相楽支部操法大会準優勝。
平成18年 7月23日	第17回京都府消防協会相楽支部操法大会準優勝。
平成18年 8月 6日	第19回京都府消防操法大会奨励賞受賞。
平成22年 7月25日	第19回京都府消防協会相楽支部操法大会準優勝。
平成22年 8月 1日	第21回京都府消防操法大会4位入賞。
平成24年 7月29日	第20回京都府消防協会相楽支部操法大会優勝。
平成24年 8月 5日	第22回京都府消防操法大会優勝。
平成26年 7月27日	第21回京都府消防協会相楽支部操法大会準優勝。
平成26年 8月 3日	第23回京都府消防操法大会優勝。
平成26年11月 7日	第24回全国消防操法大会出場。
平成28年 7月31日	第24回京都府消防操法大会準優勝。
平成30年 7月22日	第23回京都府消防協会相楽支部操法大会優勝。
平成30年 8月 5日	第25回京都府消防操法大会準優勝。
令和 4年 8月28日	第28回京都府消防操法大会準優勝。
令和 6年 8月25日	第29回京都府消防操法大会優勝。
令和 6年10月12日	第30回全国消防操法大会優良賞(5位)受賞

5 消防機械の配置の状況（消防団）

部名	種別	メーカー (車種)	年式	排気量 (cc)	型式	備考		
団本部	指揮広報車	トヨタ (ライズ)	R 5 年	990		広報マイク設備		
	多機能車 ※総務省から 無償貸付	日産 (キャラバン)	H28 年	2,480		救助資機材等積載		
		小型動力ポンプ (トーハツ)	H28 年	617	B-2	縦型直列3気筒水冷4ストローク		
第1分団	第1部	積載車	ダイハツ (ハイゼット)	R 4 年	650			
		小型動力ポンプ	トーハツ	R 4 年	617	B-2	横形2気筒水冷2ストローク	
	第2部	積載車	ダイハツ (ハイゼット)	R 6 年	650			
		小型動力ポンプ	トーハツ	R 6 年	500	B-3	直列3気筒水冷4ストローク	
	第3部	積載車	ダイハツ (ハイゼット)	R 6 年	650			
		小型動力ポンプ	トーハツ	R 6 年	500	B-3	直列3気筒水冷4ストローク	
	第4部	積載車	ダイハツ (ハイゼット)	H26 年	650			
		小型動力ポンプ	トーハツ	H26 年	617	B-2	横形2気筒水冷2ストローク	
	第2分団	第1部	積載車	ダイハツ (ハイゼット)	R 5 年	650		
			小型動力ポンプ	トーハツ	R 5 年	617	B-2	横形2気筒水冷2ストローク
第2部		積載車	ダイハツ (ハイゼット)	R 7 年	650			
		小型動力ポンプ	トーハツ	R 7 年	500	B-3	直列3気筒水冷4ストローク	
第3部		積載車	ダイハツ (ハイゼット)	H20 年	650			
		小型動力ポンプ	トーハツ	H20 年	617	B-2	横形2気筒水冷2ストローク	
第4部		積載車	ダイハツ (ハイゼット)	H24 年	650			
		小型動力ポンプ	トーハツ	H24 年	617	B-2	横形2気筒水冷2ストローク	
第5部		積載車	ダイハツ (ハイゼット)	H27 年	650			
		小型動力ポンプ	トーハツ	H27 年	617	B-2	横形2気筒水冷2ストローク	

第3分団	第1部	積載車	ダイハツ (ハイゼット)	R 1 年	650		
		小型動力ポンプ	トーハツ	R 1 年	617	B - 2	横形2気筒水冷2ストローク
	第2部	積載車	ダイハツ (ハイゼット)	H20 年	650		
		小型動力ポンプ	トーハツ	H20 年	617	B - 2	横形2気筒水冷2ストローク
	第3部	積載車	ダイハツ (ハイゼット)	H25 年	650		
		小型動力ポンプ	トーハツ	H25 年	617	B - 2	横形2気筒水冷2ストローク
	第4部	積載車	ダイハツ (ハイゼット)	H28 年	650		
		小型動力ポンプ	トーハツ	H28 年	617	B - 2	横形2気筒水冷2ストローク

令和8年4月1日現在

令和 8 年度 刊行

京都府相楽郡精華町大字北稻八間小字寄田長 3 1 番地

精 華 町 消 防 本 部

T E L 0 7 7 4 - 9 4 - 5 1 1 9 (代)

F A X 0 7 7 4 - 9 4 - 5 4 9 3